

計画運休は事前周知が重要

JR西日本 早めの周知と情報更新で利用者に検討を促す



台風接近に伴う運転取りやめを含む運転計画をどのように伝えていけば良いのでしょうか。JR西日本会社の情報の出し方について、同社のホームページで報じられた内容から検証してみましょう！

JR西日本では9月28日14時50分、同社ホームページの列車運行情報にて台風24号に関する第一報を掲載しました。

台風24号接近に伴い、京阪神エリアにおいて、9/30(日)昼頃から10/1(月)にかけて、列車の運転を取りやめる可能性があります。
詳しい運転計画については分かり次第お知らせいたします

その後、運転計画発表時期に関する情報が更新されました。

9/30(日)の運転計画の概要については、9/29(土)の夕方頃までにお知らせいたします。(28日、18時50分 更新)

9/30(日)の運転計画の概要については、本日(9/29)の16時頃にお知らせする予定です。(29日、9時35分 更新)

29日14時05分更新では、運転計画の方向性が示されました。

台風24号の接近に伴い明日(9月30日)、京阪神エリアの各線区において、8時頃以降順次列車の運転を取り止め、各線区で概ね12時迄には全ての列車の運転を取り止めます。

また、台風の影響によって、以降の運転を終日見合わせる可能性があります

29日15時40分更新では、「9月30日の運転計画」が示されました。

【運転を取り止める線区(以下は、最後に運転する列車の時刻)】

・北陸線<近江塩津駅→米原駅> 近江塩津駅 11時00分頃

※次回のお知らせは、本日(9月29日)21時頃を予定しています。

29日21時00分更新では、最後に運転する列車を示しました。

【運転を取り止める線区(以下は、最終列車)】

・北陸線<近江塩津駅⇒米原駅> 近江塩津駅 11時05分発: 米原行き

利用者に早めに周知することで、利用者は事態を想定することが出来ます。未確定でも方向性を示し、そして情報更新のタイミングを示すことが重要です。その上で、確定した情報を周知することが利用者の納得感につながります。